当院で腎疾患の診断目的のために腎生検を受けた患者さんへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、腎生検で採取された検体及び診療で得られた検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名]　腎生検で診断の得られた希少 6 腎疾患の臨床像と病理学的特徴の検討に関する研究

[研究の意義・目的]　希少 6 腎疾患[(Castleman 病・クロウ深瀬症候群・TAFRO 症候群 / 原線維性糸球体腎炎・イムノタクトイド糸球体症・アミロイドーシス / IgA 沈着による膜性腎症 / 高リン脂質抗体症候群 / クリオグロブリン血症性糸球体腎炎 / Light chain proximal tubulopathy）以下、希少 6 腎疾患とする]は症例数が少ないことから、臨床病理学的特徴の詳細が明らかになっていません。本研究は、日本医科大学附属病院ならびに日本腎病理協会に所属するメンバーの所属機関から各症例を持ち寄ることで、それぞれの疾患の特徴を病理学的に解析し、臨床所見との関連を明らかにすることを目的とします。

なお、この研究について研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[研究の方法]

〇対象となる患者さん

1991 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに、日本医科大学附属病院ならびに日本腎病理協会に所属するメンバーの所属機関にて、腎疾患の診断目的のために腎生検をうけた方。

〇利用する検体・診療情報

検体：腎臓の生検病理組織

診療情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、腎機能、尿・血液検査項目等

[外部への検体・診療情報の提供]

利用する当院所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送および電子システムを使用して、下記の研究組織へ提供します。

[研究参加施設]

市立大津市民病院／獨協医科大学／田附興風会医学研究所北野病院／慶應義塾大学／東北医科薬科大学／中部ろうさい病院／福岡大学／新潟大学／市立札幌病院／亀田総合病院／信州大学／聖マリアンナ医科大学／岩手県立中央病院／公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂綜合病院／東京慈恵会医科大学／日本医科大学／NPO 法人北海道腎病理センター／筑波大学／香川大学／東京女子医科大学／東海大学／昭和大学／名古屋第二赤十字病院／山口病理組織研究所／横浜市立大学／京都第一赤十字病院／埼玉県済生会川口総合病院／東京都立小児総合医療センター／札幌医科大学／大阪大学／釧路赤十字病院／順天堂大学／神戸大学／神戸市立医療センター中央市民病院、札幌徳洲会病院、神戸市立西神戸医療センター、北海道大学、生寿会かわな病院、産業医科大学、浜松医科大学、京都府立医科大学附属病院、板橋中央総合病院、京都第一赤十字病院、長崎大学病院

［研究代表者・連絡先］
日本医科大学　解析人体病理学　清水章
〒113-8603　東京都文京区千駄木 1-1-5
電話：03-3822-2131（代表）　内線：7528
E-mail：ashimizu@nms.ac.jp

［当院での連絡先］
香川大学医学部　分子腫瘍病理学　伊吹英美
〒761-0793　香川県木田郡三木町池戸 1750-1
電話：087-898-5111（代表）